

… 全体会記念講演会 … 「伝統産業の生き残りをかけて」



講師 / 株式会社 志太泉酒造 代表取締役 望月雄二郎 氏

■ 日時 / 平成 28 年 5 月 17 日(火) 16:40~18:10

■ 会場 / 小杉苑

【講演内容】

- 日本酒市場の推移と現況
- 日本酒のファンづくり
- 楽しく仕事をするためには
- 新商品開発
- 六次産業化(行政との付き合い方)など

[講師プロフィール]

東北大学経済学部卒

協和発酵工業(現協和発酵キリン)を経て実家の志太泉酒造入社。

にゃんかつぶ、梅丸、ラチオ正宗などの新商品を通して新しい市場を模索しています。

SSI 認定の日本酒学講師として日本酒の啓蒙にも取り組んでいます。

また、日本醸造協会認定利き酒マイスター、酒類総合研究所認定清酒専門評価者でもあります。



[志太泉酒造について]

▽志太泉の歴史

志太泉は、明治 15 年初代「望月久作」が、創業しました。「望月家」は藤枝の地主であった「杉村家」の分家として、余剰米を有効に利用する役割を担っていたようです。

酒の名前は地元の古くからの地名である「志太」にある「泉」のような酒という意味と「志」「太」「泉」のように湧き立つ酒を造りたいという願いを込めて「志太泉」と命名したと伝えられています。

戦後、昭和 29 年、酒造業を再開しました。

はやくから吟醸造りに取り組み、昭和 35 年 4 月には、吟醸酒「白鷺」として発売を開始しました。

昭和 43 年、当時日本酒の世界で最も権威のある「東京農業大学品評会」で金賞を受賞しました。

昭和 50 年代より静岡県の吟醸造りの方法論を模索し、その隆盛とともに、「全国新酒鑑評会」で昭和 59 年より 3 回連続の金賞を受賞しました。

平成 21 酒造年度より、能登杜氏「西原光志」もとで伝統的な酒造りを継承しつつ創意工夫を加えモダンな酒質を追求しています。「全国新酒鑑評会」においては平成 26 年での金賞受賞により合計 17 回金賞受賞しています。

(同社ホームページより)



※ お申込みに対する返事は致しませんが、定員に達してお断りする場合はご連絡致します。

※ 本講演は会員・非会員を問わず、どなた様でも無料で聴講できます。

切り取り不要

藤枝法人会行き

FAX：645-1310

※切：5/13(金)

平成 28 年 5 月 17 日(火)開催 法人会青年部会「記念講演会」申込書

聴講無料!

法人名

氏名